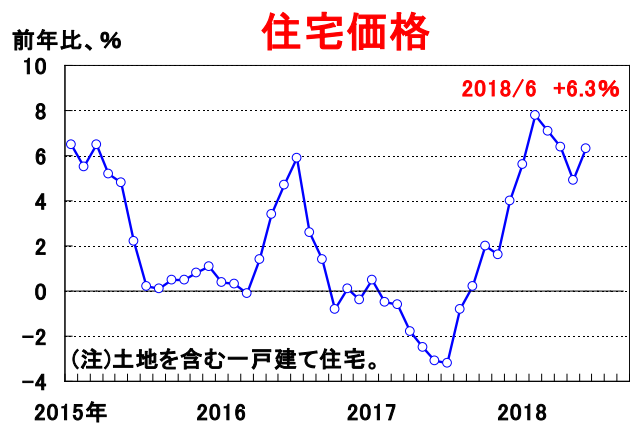
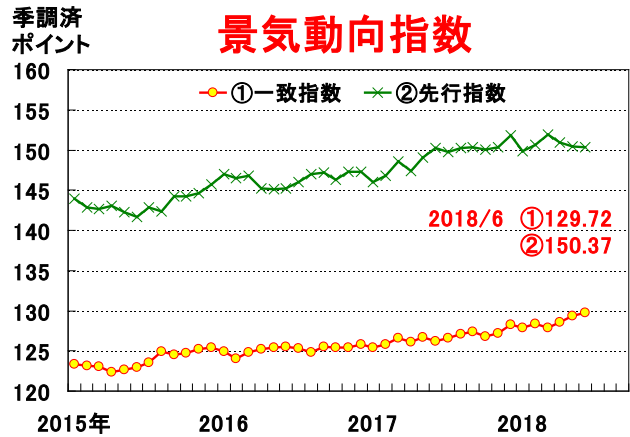
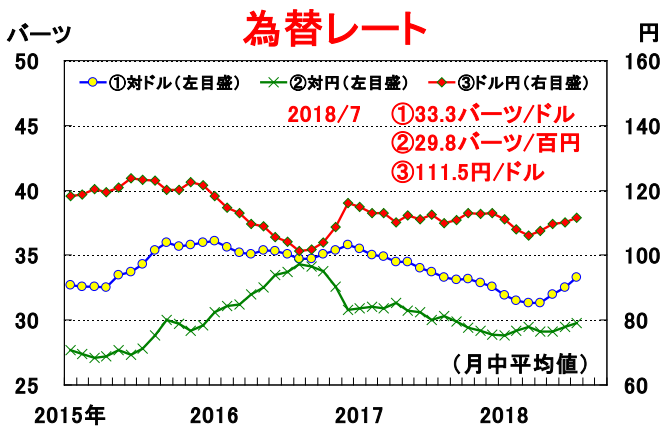
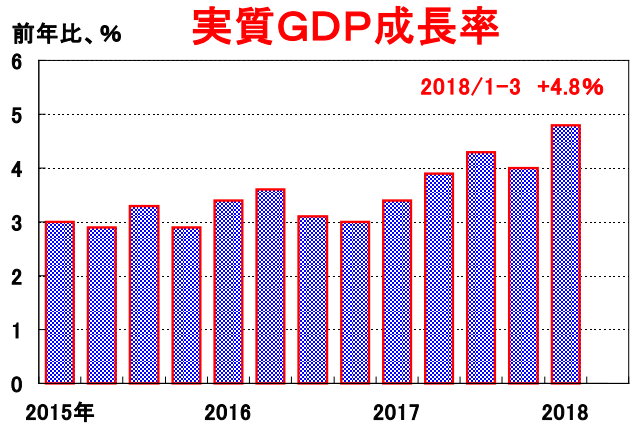
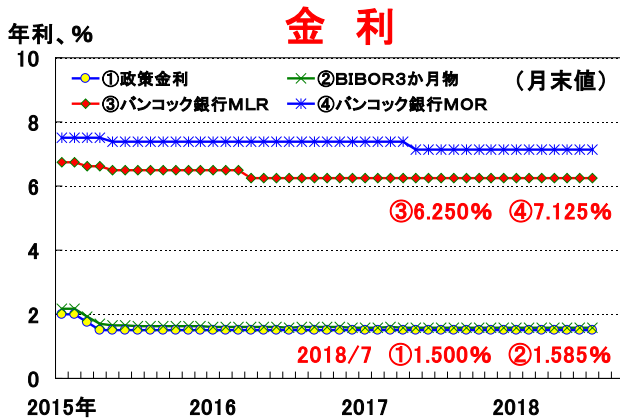


グラフで見るタイ経済 2018年8月号(No. 110)

タイ経済は回復基調を継続している。まず、企業部門をみると、6月の輸出が前年比+8.2%と中国向けの減速などから増勢を弱めたものの、同月の工業生産指数は前月比+1.5%と2か月連続で大幅に上昇し、また民間投資指数も139.2と15か月ぶりの高水準となった。7月の企業景況指数は52.0(前月は52.8)と3か月連続で中立水準の50を上回り、企業マインドの改善が継続していることを示した。次に、家計部門に関しては、6月の個人消費指数が124.2と高水準で推移し、同月の新車販売台数も前年比+25.9%と堅調に増加した。



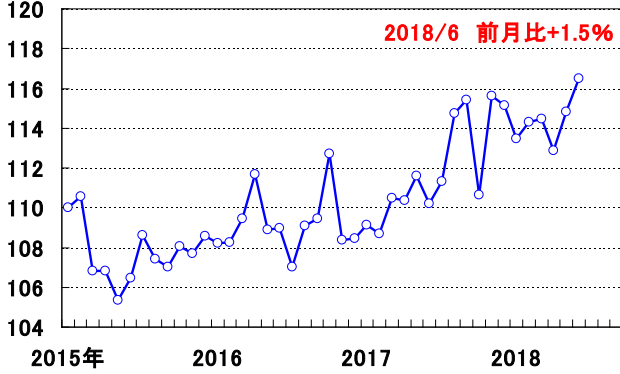
【今月のトピック:懸念されるプーケットの事故の観光への影響】7月5日、プーケット島沖で中国人観光客らに乗せたボートが強風と高波を受け転覆し、47人が亡くなる事故が発生した。その後、プーケット島では中国人観光客を中心にホテルの予約のキャンセルが相次いだ。タイ南部ホテル協会の会長の発言によると、ホテルの宿泊取り消しによる損失は約700万パーツ(約2,362万円)に上るとみられている。タイ政府は、今回の事故の影響を重くみており、プーケット島周辺の観光船の安全基準の検査を開始し、海上観光の信頼回復に努めている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

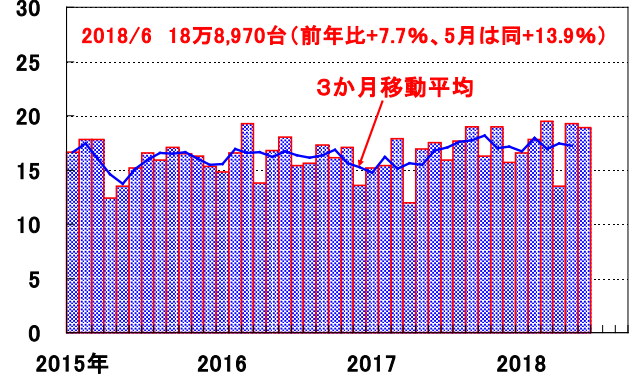
季調済
2011年=100

工業生産指数

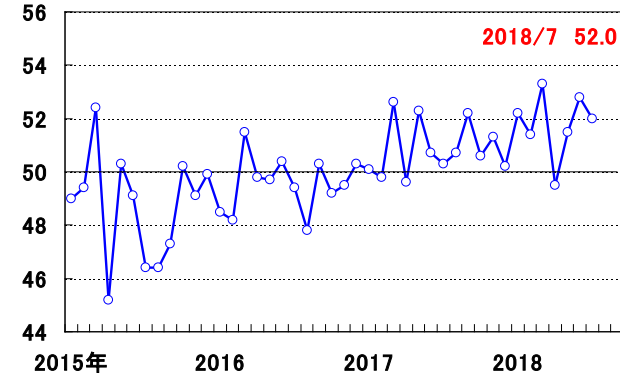


万台

自動車生産台数

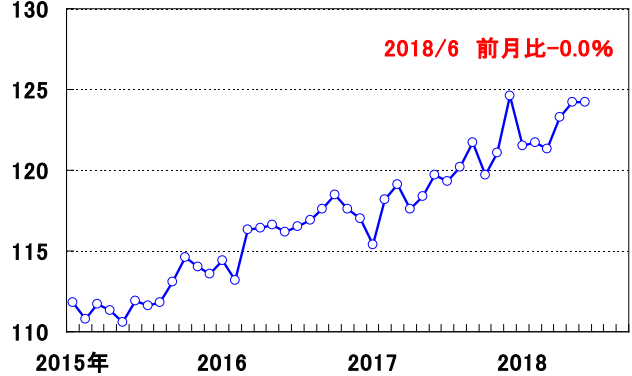


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



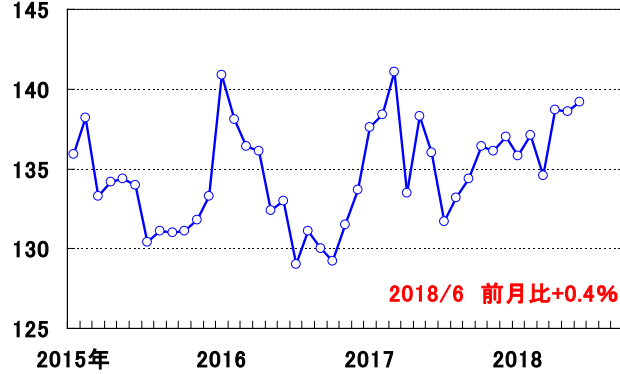
季調済
2000年=100

個人消費指数



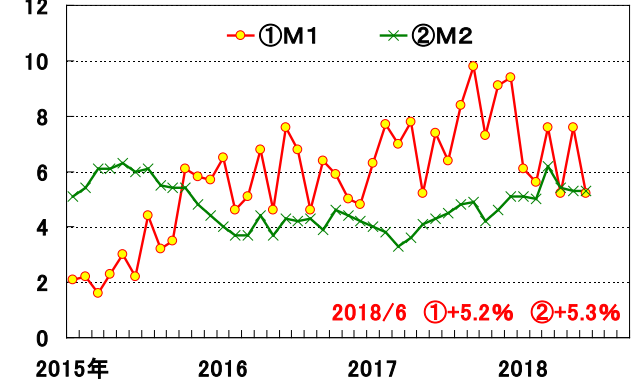
季調済
2010年=100

民間投資指数



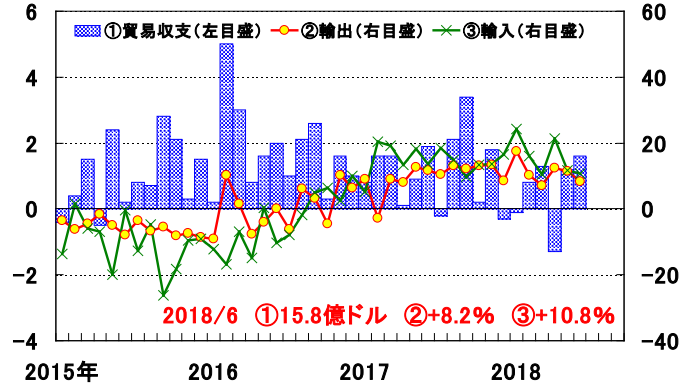
前年比、%

マネーサプライ



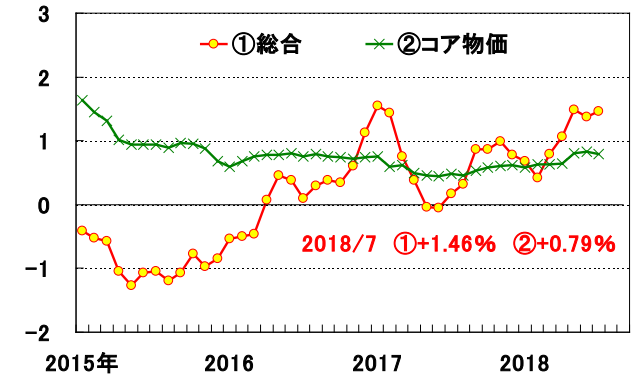
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。